

津波防災

1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

地図の準備

地図を固定し、ビニールを重ねて固定



①道路・鉄道・河川など

①枚目のビニールシートに

※1枚目はずっと貼ったままとなります

①幹線道路



茶色

②鉄道



黒色

③河川



青色

(イメージは燃え止まりになるもの)



②各種の施設など

自宅の位置小さい	●
主要施設		
役場大きい	●(役)
病院・診療所大きい	●(病) ●(診)
学校大きい	●(小) ●(中) ●(高)
保育園大きい	●(保) ●(幼)
社会福祉施設大きい	●(老) ●(特)
主要産業施設大きい	●(工) ●(加)
店舗大きい	●(JA) ●(GS)
津波避難場所小さい	●
収容避難場所大きい	●

津波防災

1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

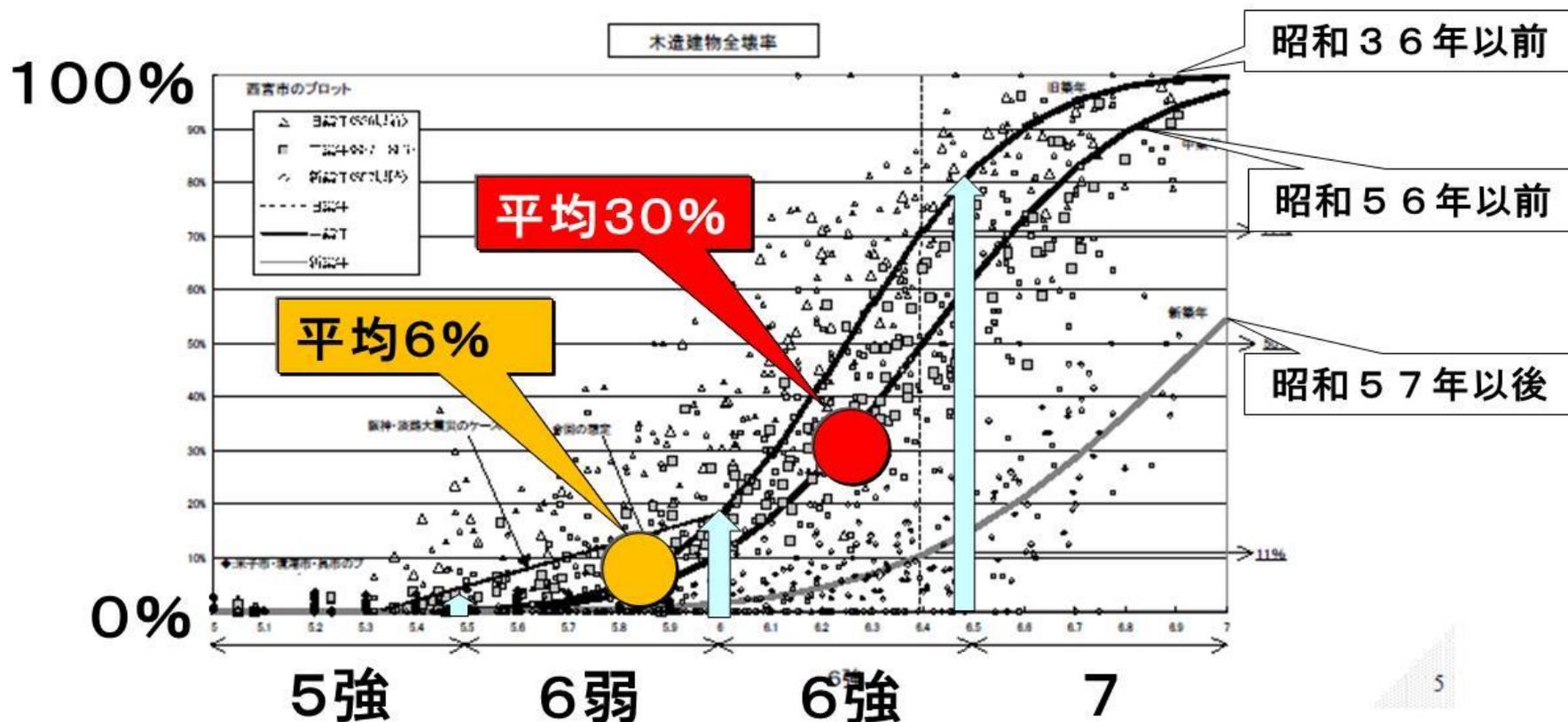
全壊率は？（倒壊は6弱～6強ではおおよそこの1割）

出典：中央防災会議首都直下地震対策専門委員会

○全壊率テーブル

木造：3区分

- ・ 建物が全壊するときの震度が正規分布に従うと仮定（全壊率テーブルに正規分布の累積確率密度関数を使用）。
- ・ 阪神・淡路大震災における西宮市、鳥取県西部地震における鳥取市、雲予地震における呉市のプロットデータをもとに設定。



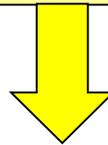
ご自分の町会・自治会の全壊率は？

住宅被害・生埋め者の予測(簡略法)

震度6強の場合の被害予測例

人口		人
木造棟数		棟
全壊		棟
倒壊		棟
生埋め		人

- ・倒壊棟数は全壊棟数の1割と仮定
- ・生埋め者数は夜間・1階に1人寝ていると仮定



生埋め者.....小さな ●

津波防災

1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

津波の危険度

標高の確認

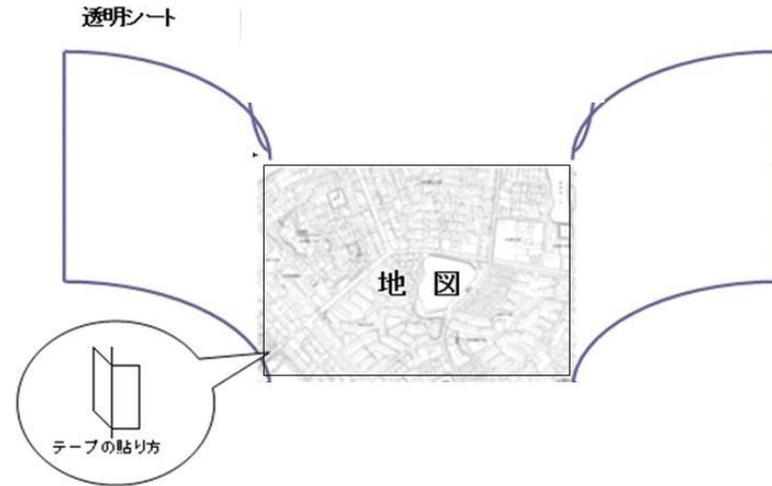


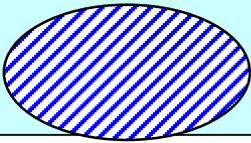
凡例(例)

- 標高20m以下
- 標高10m以下

津波の危険度

- ①枚目のビニールを開いて
- ②枚目のビニールシートをセット



- ②枚目のビニールシートに
- ・津波危険地域……………  青色

- ①枚目を下に、②枚目を重ねて
- ・地域の被害状況を確認する

まとめ①

生埋め者数	人
津波死者数	人

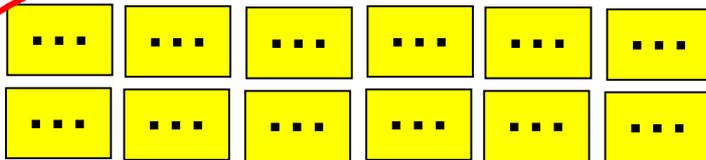
※東日本大震災では4%

まとめ②

生埋め者数	人
津波死者数	人

※東日本大震災では4%

地域の被害

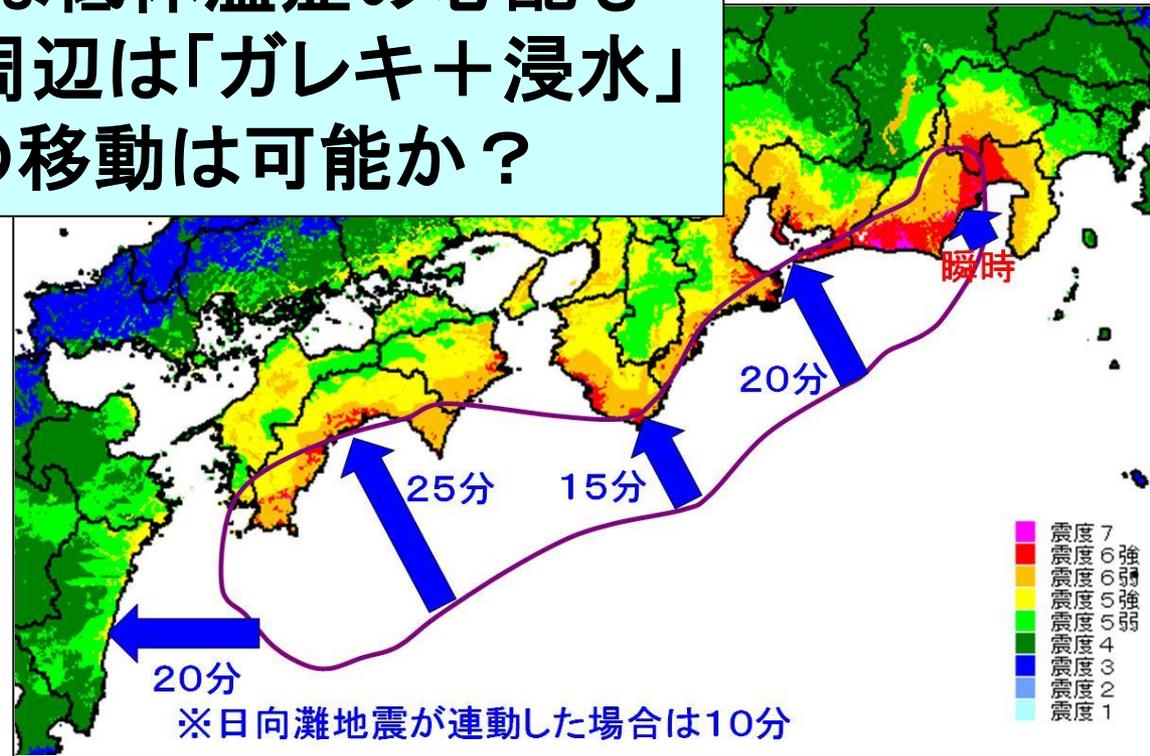


津波防災

1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

津波避難の課題は？

- 地震発生から避難完了までの時間は？
 - ・重傷者、生埋め・閉じ込め者は？
- 夜間発生では、消防団員といえども避難
 - ・せめて稲村の火（避難場所から灯りを）
- 避難期間（津波警報継続時間）＝2日間
 - ・東北とは違うが冬は低体温症の心配も
- 津波警報解除後の周辺は「ガレキ＋浸水」
 - ・収容避難場所への移動は可能か？

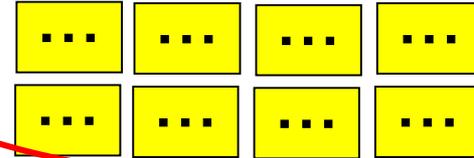


まとめ③

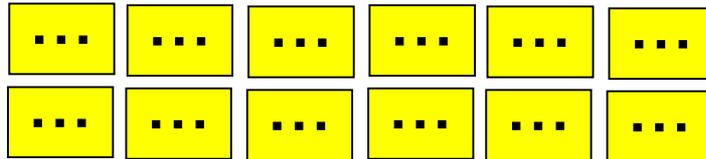
生埋め者数	人
津波死者数	人

※東日本大震災では4%

津波避難の課題



地域の被害



津波防災

1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

避難生活の課題は？

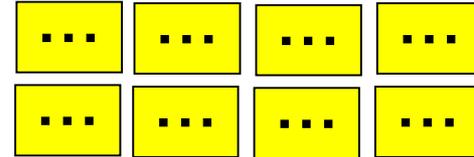
- 避難で命を守っても家・生活の場は失われる
- 予想される避難者数は？
- 高台の避難所施設の収容可能人数は？
- 避難生活の期間は？（仮設住宅への移動まで数ヶ月）
- 外部からの支援はいつから始まる？
 - ・物流が止まる、全国で飲食料・物資が不足する
 - ・田舎であれば薪もある、湧き水もあるが・・・
 - 飲食料・生活物資は・・・空き教室などに自分で備蓄
- 要援護者支援（関連死は防げるか？）
 - ・医療・介護は機能するか？

まとめ④

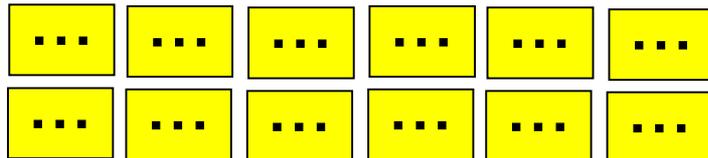
生埋め者数	人
津波死者数	人

※東日本大震災では4%

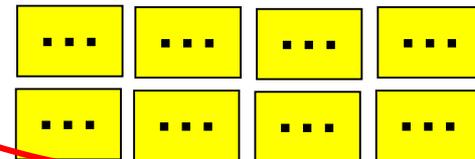
津波避難の課題



地域の被害



避難生活の課題



津波防災

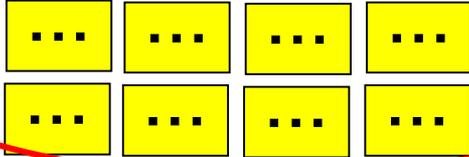
1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

仮設住宅生活の課題は？

- 仮設住宅の**必要戸数**は？
- 仮設住宅建設の**適地**はどこ？
- **生活は維持できる？**コミュニティは機能する
 - ・ 飲食料や生活物資は入手できるか（店舗）？
 - ・ 重要施設は機能するか（役場、病院、介護施設・・・）
- 要援護者支援は可能か？（**関連死を防げるか？**）
- **生活の糧**は？

まとめ⑤

仮設生活の課題



津波防災

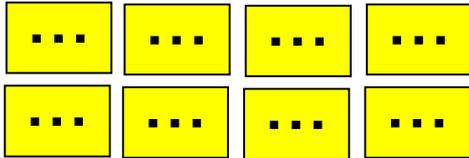
1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

生活再建～復興の課題は？

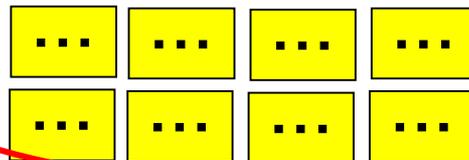
- **復興住宅**の必要戸数は？適地は？
- 生活の糧(**産業の復興**)はどこで？
- **重要施設**(役場、病院、介護施設・・・)の復興はどこで？
- 東日本大震災の経験から
 - ・生活再建～復興に**要する期間**はどれぐらいかかる？

まとめ⑥

仮設生活の課題



復興の課題



津波防災

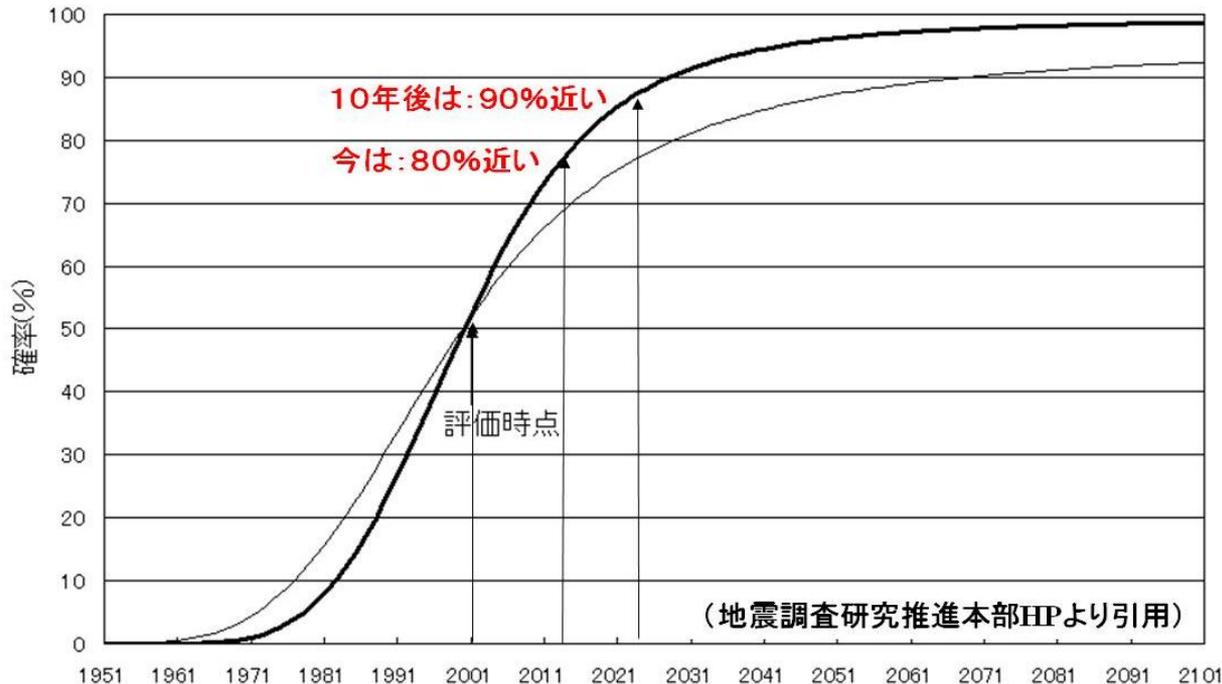
1. まちを知る
2. 地震による被害
3. 津波による被害
4. 津波避難
5. 避難生活
6. 仮設住宅生活
7. 生活再建～復興
8. 次の世代のために

次の世代のために

●将来は？

30年以内に南海トラフの地震が発生する確率は70～80%です。
まだ発生しない可能性もあります。

10年後は30年以内に発生する確率が90%近くになります。



宝くじとは違う。日めくりカレンダーの残り枚数は何枚？
残り1枚かもしれないが・・・
個人的には $1945年 + 90年 \pm \alpha = 2035年 \pm \alpha$

次の世代のために

●何もしなければ・・・(成り行きの想定)

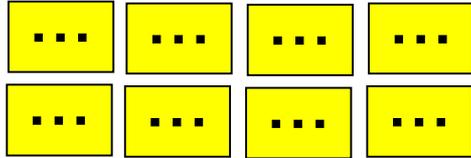
- ・発生確率はさらに高まる、嫁にこない、若者は流出
- ➡地震が来なくてもまちは崩壊に向かう

●次の世代のために

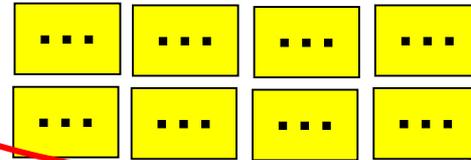
- ・どんなまちにしたいか？
- ・なにをしなければならぬか？
- ・3.11を目の当たりにした者の責任として(長期計画)
- ・集団移転が困難でも若者が安心して住める場所を！
- ➡安全なまち、住みやすいまち

まとめ⑦

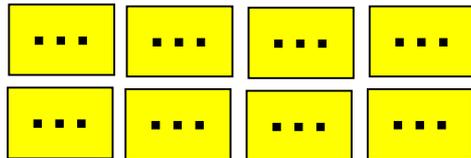
仮設生活の課題



次の世代のために



復興の課題



津波対策は避難路か？

避難では命を守れても生活は守れない

- ・一時避難場所で孤立
- ・避難所生活→仮設住宅→復興住宅
- ・この間に多数の関連死

せめて高台に保育園、学校、病院、スーパーを！
→若い人が、家を建てる時には便利な高台へ
3. 11を目撃した大人の責任として計画を！

まとめ⑧

仮設生活の課題

...
...

次の世代のために

...
...

復興の課題

...
...

本日の感想

...
...